

## 平成28年1月 下田市教育委員会定例会 会議録

平成28年1月25日(月)13時30分下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館大会議室に招集した。

出席委員は次のとおりである。

佐々木文夫 教育長  
田中とし子 委 長  
渡邊 亮治 委 員  
土屋 康宣 委 員  
天野 美香 委 員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

峯岸 勉 学校教育課長  
鈴木 孝子 生涯学習課長  
山梨 弘樹 学校教育課参事  
佐々木雅昭 学校教育課長補佐 兼 学校教育係長  
糸賀 浩 こども育成係長  
本間 奈巳 社会教育係長  
山田 慶太 学校教育課 主事

1．13時30分教育長開会を宣す。

2．会議録署名人選出

会議録署名人に 渡邊 亮治 委員を選出。

3．12月定例会会議録承認

事務局より資料に基づき説明

教育長 会議録については、承認でよろしいでしょうか。

委員全員 承認。

#### 4. 教育長報告事項

1月事業報告、2月事業計画について、事務局より資料に基づき説明

教育長

冬休みが明けましたが、いずれの園、学校からも大きな事故の報告はなく新学期を迎えることができ、良かったと思います。報道等で既にご存知かと思いますが、インフルエンザによる欠席者が増加したことから、白浜小の第2学年が19日と20日の2日間、学年閉鎖の措置をとりました。現在は市内全体での欠席者数は一旦減って小康状態となっていますが、他地区ではかなり流行しているところもあります。子どもたちにしっかりとした体調管理を喚起するよう、今後も各学校に指導していきたいと思います。

こちら伊豆新聞での報道があった件ですが、下田中3年生の中村さんが「社会を明るくする運動」の作文コンテストで全国優秀賞を受賞し、先日市長から表彰状の伝達が行われました。優秀賞の受賞者は県内で1人、全国でも16人ということで、大変素晴らしい作品だったと思います。

2月29日の月曜日には、下田市民文化会館大ホールにて谷村新司さんのイベントが開催されます。これは天野委員も携わっている企画ですが、下田小の児童も参加して、演者と一緒になって歌を歌うという参加型のイベントであるということです。

生涯学習課関連では、10日に成人式、24日に河津・下田駅伝が開催されました。市内の学校では、女子の部で見事下田中が2連覇を果たした他、男子の部で下田中が3位、稲生沢中が4位という結果でした。区間賞については、下田中の男子1名と女子3名が輝くなど、ここでも同校の活躍が目立ちました。

そして2月12日には県の移動教育委員会が開催されます。当日は教育行政についての意見交換の場があり、教育長が中心になって賀茂地区の課題や現状を紹介する予定です。また、その後フリートークの場も設けられる予定であり、教育委員の皆様については、後者の時間で発言をして頂く機会があると思います。議題については多少の変更がある予定ですが、賀茂地区における指導主事の配置の件などが予定されています。当日は賀茂地区の各市町の教育委員や指導主事など、非常に多くの方々に参加する予定です。

それでは質問等無いようですので、報告事項については以上で宜しいでしょうか。

#### 5. 議事

(1) 議第1号 下田市奨学振興基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について  
事務局より資料に基づき説明

教育長

それでは特に質問等無いようですので、承認で宜しいでしょうか。

委員全員

承認

( 2 ) 議第 2 号 下田市立小中学校体験プログラム事業補助金交付要綱の制定について  
事務局より資料に基づき説明

委員 11 校分の予算を確保しているとのことですが、こちらの予算については各学校に予め配当されるものなのでしょうか。それとも申請した学校のみには交付されるのでしょうか。

学校教育課長補佐 兼 学校教育係長 現在、いくつかの学校から既にこのプログラムについての要望が届いています。1 校あたり 15 万円を上限として予算を確保していますが、いずれの学校からも申請があるという見込みで準備しているところであり、またそのようにも促しているところです。

教育長 それでは他に質問等ないようですので、承認で宜しいでしょうか。

委員全員 承認

( 3 ) 議第 3 号 下田市立小中学校英語力向上プロジェクト事業補助金交付要綱の制定について  
事務局より資料に基づき説明

委員 一例として玉川大学との連携事業が挙げられていますが、費用についてはどの程度を見込んでいるのでしょうか。

学校教育課長 参加学生 25 名程度の交通費と宿泊料、計 118 万円を当初予算として財政部局に要望しているところです。

委員 内容については具体的にどのようなものになるのでしょうか。

学校教育課長 玉川大のリベラルアーツ学部が、既に北海道の自治体で同様の事業を実施した実績がありますので、そちらの報告書を後程ご回覧頂きたいと思います。特徴としては、一方的に英語を教えるのではなく、相互の交流や参加型のワークショップを含めたものになっているとのこと。

委員 教育大綱で謳われている事項を具現化するにあたり、このように予算を確保して事業に乗り出すのは非常に良い試みだと思います。ただし、人件費のみで 118 万円という大きな支出を要することになるので、事業内容については事前にしっかりと吟味すべきだと思います。現段階では、どのような事業になるのかというイメージが不明瞭なので、多額の予算を計上して実施することの意義や是非が判断しにくい面があります。

また、このような事業は、今後も毎年予算を確保して継続的に行っていくことになると思います。将来的な見通しについて、市教委としてはどのような展望を持っているのでしょうか。

学校教育課長 来年度については、モデル校としてまず稲生沢小1校を対象に行いますが、成果が見込めるようであれば、翌年以降も他の学校に拡大していきたいと考えています。

委員 この試みによって、どれほどの成果が出るのかというところが気になります。また、子供たちの英語力を高めていくための取り組みは言うまでもなく必要なのですが、今回の玉川大との共同事業以外にはどのようなものを考えているのでしょうか。体験プログラムによる英語教育の推進ということであれば、他の形態の事業についての想定もあると思いますが、その点はいかがでしょうか。

学校教育課長 一朝一夕で成果が出るものではないにしても、相応の費用を要するものですので、見込まれる成果については、やはりしっかり考えなければならないと思います。

学校教育課長補佐 兼 学校教育係長 大学との連携事業については、取り急ぎ他校に先立ってモデル校である稲生沢小において実施する予定ですが、来年度は教育振興基金を財源とした外国語指導助手の増員も行う予定です。このように英語力向上プロジェクトとは別の枠組みでも、子どもたちの英語力向上に向けた取り組みを行っていく予定です。

教育長 実際に来年度英語力向上プロジェクトの中で講師役を務めることになるのは、玉川大学文学部の英語教育学科という教員養成系学科の学生の方々です。将来教職を目指す学生が子どもと触れ合う経験を積むこと、そして低学年の児童にも英語に触れる機会を作っていくという双方にメリットがある試みだと考えています。先日大学側と打ち合わせの場を設けましたが、まずは足掛かりとして5月の黒船祭の期間に3日間の日程で1度目のプログラムを実施する方向で調整しています。毎年恒例となっている米軍兵との交流会に先立って学生の方々が子どもたちに英語の講義をし、交流会の当日には学生のサポートのもとで交流会を開催する予定です。また、夏休みにも1泊2日の日程で、授業に近い形式で2回目のプログラムを計画しています。

委員 プログラムには相応の英語力がある学生が参加するのでしょうか。

教育長 はい。この学科では2年次の秋学期から3年次の春学期にかけて英語圏への留学が必須となっており、また学生たちは英語の教員免許取得を目指しているとのこと。

委員 大学側はこれまでどのくらいの実績があるのでしょうか。

教育長 下田市における英語力向上プロジェクトに参加する学部とは異なりますが、同大のり

ベラルアーツ学部の学生が北海道のいくつかの自治体で同様の事業を行っています。

教育長 今年度に入ってふるさと納税による寄付金収入が増えていますが、こちらも財源として活用できるのでしょうか。

学校教育課長補佐 英語力向上プロジェクトの財源になっている奨学振興基金の原資は北海道の野口観光兼 学校教育係長 光様からの寄附が主です。今年度に入ってからふるさと納税による寄附金も増えてはいますが、野口観光からも新たに 1000 万円の寄附を頂けることになっています。今年度末の残高は 6000 万円程度になる見込みであり、来年度はそのうちの 550 万円程度を取り崩して 5 つの事業に充てていく予定です。

教育長 それでは他に質問等ないようですので、承認で宜しいでしょうか。

委員全員 承認

( 4 ) 議第 4 号 下田市立学校の県費負担教職員の評価結果に対する意見の申出及びその取扱いに関する要綱の一部を改正する要綱の制定について  
事務局より資料に基づき説明

教育長 それでは特に質問等ないようですので、承認で宜しいでしょうか。

委員全員 承認

( 5 ) 議第 5 号 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について  
(平成 26 年度下田市立給食センター建設工事(建築)(繰越)  
請負契約の締結についての一部変更について)  
事務局より資料に基づき説明

教育長 それでは特に質問等ないようですので、承認で宜しいでしょうか。

委員全員 承認

( 6 ) 議第 6 号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について  
学校教育課長補佐 議第 6 号については、非公開で審議をお願いします。  
兼 学校教育係長

非公開での審議

6. 報告事項

学校教育課長より、学校再編に関するアンケートについて報告

委員 昨年度末に学校等再編整備審議会より提出された答申では、「まず稲生沢中と稲梓中の統合を進め、他の中学についても単学級となった時点で統合を検討していく」とされていたと思います。今回はその議論を振り出しに戻し、アンケートによって再度保護者や学校現場に意見を問うということなのでしょうか。下田東中でも単学級の学年が出てくるなど、市内で学校の統合を進めていくことはやむを得ないと思いますが、議論が審議会で出た答申と異なる方向に動いている印象があります。一度に1校化するとなれば、市のあり方全般により深く関わってくることで、一般市民の方にも広く意見を問うべきだと思います。

委員 アンケートにある「下田市内の4中学校の再編についてどのようにお考えですか」の部分ですが、今までの答申の内容が脇に置かれてしまっている印象を受けます。1校化について反対の方が多かった場合は再度議論をし直すことになるのでしょうか。学校の再編を進めていくことを前提とした上で、段階的に統合を進めるのか、はじめから1校化するのか、そのような問いにした方が焦点が明確になると思います。

学校教育課長 先月の総合教育会議の中では、「児童・生徒数の減少を鑑みると多少の時間が掛かったとしても最初から1校化を目指した方が良いのでは」という意見が市長を中心にありました。6月に昨年度の答申についての説明会をした際には、1校化ということについては殆ど触れなかったこともあり、改めてこのような形で意見を問うこととなりました。

教育長 これまでの議論を全て巻戻しするのではなく、答申を前提としたうえで、新たにもう一つの選択肢を提示して、あくまで再編の進め方の部分についての問いかけをしていきたいと考えています。

委員 下田市では再編を進めており、稲梓中と稲生沢中の統合をまず進める方向で答申が提出されたということですが、10年後には再度学校の再編を考えなければならないような状況が来る。「そのような状況を考えると、段階的に進めるのが良いのか、それとも一度に1校化を進めた方が良いのか」とシンプルに選択肢を設定した方が良いと思います。アンケートの文面だけ見ると、教育委員会が再編を進めようとしているのかどうかという意思すら読み取り辛い印象がありますので、もう少し論点を明確に表した方が良いのではないのでしょうか。

学校教育課長 アンケートについては既に学校に送付しており、現在は回答を待っている状況です。

教育長 これまでの経緯をご存じである委員の皆様としては様々なご意見があったと思います

が、我々の意図としては純粹に意見を問うことが目的であり、その点で再編に「反対」の選択肢も含めることにしたという次第です。

学校教育課長 前回の総合教育会議では、「学校現場や保護者の意見も聴取した上で、再度議論する」となっていた経緯がありますので、集計結果がまとめ次第、委員の皆様には再度見解を頂ければと思います。

委員 来月の移動教育委員会についての質問です。当日は指導主事の配置について議題になるとのことですが、我々教育委員は指導主事の業務がどのようなものなのか、十分に内容を把握できていない部分があります。どのような流れで進行するのでしょうか。

学校教育課参事 その点については、主に市町の教育長が県教委側と意見を交換する場になると思います。委員の皆様にはその後に予定されているフリートークの時間において、賀茂地区の教育行政の課題について全般的に話をして頂ければと思います。

## 7. その他

## 8. 閉会

次回開催日を2月26日(金)に決定。

1月定例会 1月25日(月) 13時30分開会

教育長 15時20分に閉会を宣す。